

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	東本梅町	東本梅町の町づくりと東本梅保育所存続について ①府の移住推進特別地域の指定と空き家バンクの登録・人口増の対策・農業新規就農者支援について	<p>京都府の移住促進条例に基づく移住促進特別区域の指定に向けて準備を進めていくため空き家調査等への協力をお願いします。空き家の利用促進については、昨年10月21日に空き家バンクを創設し、空き家所有者と利用希望者のマッチングを実施していますが、空き家登録件数よりも希望件数が上回っている状況です。自身が所有されている空き家だけではなく、近隣等に空き家がある場合はお声かけいただければありがたいです。</p> <p>また、定住者を増やし、移住・定住者の交流を活性化させるため、亀岡市へUターンされる方の住宅取得等や、カフェ等を始めたい方への亀岡市独自の補助制度を新設しましたのでご活用ください。</p>	市長公室長	②実施予定	<p>京都府移住促進条例に基づく移住促進特別区域指定につきましては、自治会に積極的に御協力をいただきましたおかげで、区域指定を行うことができました。今後は、移住者の受入に向けて空き家の発掘が課題となります。自治会におかれましても所有者への働きかけへの御協力をよろしく申し上げます。</p> <p>また、子育て世帯のUターンへの補助やカフェ等の開業補助につきましても、積極的なご活用をいただきますよう、住民の皆様への周知に御協力をお願いします。</p>
			<p>新規就農者へのアンケートによると、耕作地だけでなく、加工調製施設や農業用倉庫、作業場がある住居の要望が多くあるため、そのような住居の空き家バンクへの登録に期待しています。また、亀岡市では京力農場プランの策定に力をいれており、5年後の農業をこの地域でどうしていくかという話し合いをしていただきたくてお願いしています。そのプランの中で、例えば新規就農者を担い手として登録いただくと、機械導入等の際の補助もありますので、そちらもご活用いただき、新規就農者を育てていただきたいと考えています。</p>	産業観光部 農政担当部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。
2	東本梅町	東本梅町の町づくりと東本梅保育所存続について ②528HZの取組みについて	<p>528Hzの音楽については、その周波数に注目して特定の癒しの作用があるとして話題になっています。現在も、体操やお遊戯等の保育活動の中で、子供たちが音楽に触れる機会を設けていることから、幼児期に音楽に触れることは、子供たちの情操教育にとっても良いと考えています。528Hzの音楽について、日々の保育の中で、どのような場面で取り入れることができるか検討し是非とも取り組みたいと考えています。</p>	健康福祉部 子育て支援担当部長	①実施	<p>528Hzの音楽については、現在、お迎えの時間や午睡の時間、給食時間などに取り入れています。今後も子どもたちが日々の保育の中で音楽に触れられるよう検討していきたいと考えています。</p>
3	東本梅町	東本梅町の町づくりと東本梅保育所存続について ③東本梅保育所の存続について	<p>東本梅保育所の入所児童数が減少する中、幼児期において子供たちのより良い発達を促す意味で、多くの友達との関わりの中で自立心や相手への思いやりを養う重要な時期であることから、今後も統合に向け検討を進めていきたいと考えています。統合の時期については、当初から時期を繰り下げることとしましたが、児童数の状況や子供たちの育ちの面からも、早い時期に判断する必要があると考えています。</p>	健康福祉部 子育て支援担当部長	⑥その他	<p>10月26日に「東本梅保育所を考える会」のみなさまに、12月2日には東本梅保育所の保護者のみなさまに、統合時期の判断基準等について改めて提示をさせていただきました。東本梅保育所・本梅保育所の交流保育を進めており、子どもの育ちの面からも集団保育の機会の確保に努めていきます。</p>
4	東本梅町	東本梅町の町づくりと東本梅保育所存続について 【質問事項等】 本梅保育所への送迎の際に利用する駐車場が4箇所設定されているが、東本梅町や宮前町からは必ず右折で入らなければならない。また、各駐車場が満車かどうかを、一度、道路中央によって確認しなければならない。このような状況について、安全面から再度考えていただきたい。	<p>東本梅町から来られる場合は、確かに車は右折しなければならないようになっています。保護者による車での送迎時の右折については、安全対策上どうかと思うところはありますが、子供の安全面を考えると、歩道を渡って保育所に入るよりは、交通量の少ない生活道路を通ったり、小学校のグラウンドから入る方が良いと考え、そのような駐車場計画案を提示させていただきました。今後も引き続き協議をお願いします。</p>	健康福祉部 子育て支援担当部長	③検討	<p>10月26日に「東本梅保育所を考える会」のみなさまに、12月2日には東本梅保育所の保護者のみなさまに、統合時期の判断基準と駐車場案について改めて提示をさせていただきました。駐車場については、統合時の児童数の状況に応じて、改めて検討していきたいと考えています。</p>

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
5	東本梅町	東本梅町の町づくりと東本梅保育所 存続について ④半国山ハイキングコースの整備に ついて	半国山ハイキングコースについては、観光パンフレット「亀岡なび」や「観光協会ホームページ」で紹介するとともに、道標や案内板等を設置し、情報提供を行っています。ハイキングコースの整備については、定期的に巡回し、観光協会において倒木整理等の作業を実施しています。また、亀岡市山岳隊においても整備していただいています。「森の京都事業費補助金」については継続事業のメニューが大幅に削減されたため、実情として予算化できていないと京都府から聞いています。今後については限られた予算の範囲の中ではありますが、観光協会において、コースの整備を行うとともに、魅力ある地域の観光情報を広くお知らせし、観光誘客を図っていきます。	産業観光部長	②実施予定	こん談会での回答のとおりです。
6	東本梅町	東本梅町の町づくりと東本梅保育所 存続について 【質問事項等】 半国山ハイキングコースの清掃には 補助金は付かないのか。	観光に特化した補助金はありませんが、地域力再生プロジェクト支援事業交付金があり、そちらの交付金を利用するためには、全体枠の中で京都府と調整する必要があります。また、このコースは林道音羽線を利用しており、その林道部分については林道の整備事業もあります。その先線部分の山道については、地元負担を伴うが、作業道開設事業があります。	産業観光部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
			亀岡市でも地元と行政との共同支援金的な補助金は設けています。様々なパターンがありますが、行政と連携するものであれば、最大50万円といったものもあります。事業を実施する前に、行政とどのような形で一緒にやっていくかなど相談していただきたいと思います。	生涯学習部長	①実施	継続して「まちづくり協働支援金」制度を運用しています。
7	東本梅町	安全・安心のまちづくり 西部地域への救急医療及び消防署 分室の設置	京都府中部広域消防組合管内の人口は約14万人であり、消防力の整備指針による「市街地の人口11万人から14万人に対して4署所」の配置基準については、管内に7署所あるため満たしています。しかし、広域な面積を管轄しているため、人口の基準のみで考えるのではなく、緊急車両の到着時間も考慮することが重要であると考えています。また、西部地域に出張所等の設置を希望される声が多いこと、設置が必要ということも認識しています。今後も引き続き京都中部広域消防組合全体の消防力強化について協議が進められるよう働きかけていきます。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
8	東本梅町	安全・安心のまちづくり 集中豪雨における市道冠水等、市の 管理課でパトロール等を行い通 行止め等判断してほしい。また、土 石流や溪流の改良事業を予防対策 として行ってほしい。	集中豪雨における市道冠水状況等については、自治会や市民からの情報提供に基づき、順次現地確認やパトロールを行った上で、基本的には、道路管理者が判断し通行止め等の措置を講ずることとしています。東本梅町では、赤熊・青野線の水橋から大内側が一番初めに冠水する箇所である事は存じております。その箇所については平成25年当時の自治会長から、ふるさとバス路線であり市からの対応では時間を要するということから、地元にて応急対応する旨の連絡があり、通行止めの看板やバリケードを配備させていただいています。今後につきましては、市としましても早急な対応が行えますよう緊急時の体制強化に努めてまいりますので、ご不便をお掛けしますが、引き続き地元対応につきましてよろしくご願ひいたします。	土木建築部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
9	東本梅町	安全・安心のまちづくり 【質問事項等】 赤熊・青野線の通行止めについて、 河川の水位や降雨量等による通行 止め基準はないのか。	赤熊・青野線において、河川の水位や降雨量と冠水状況との関連データは持って おりませんので、通行止め基準は設けられておりません。パトロールを行い路面が冠 水している状況であれば通行止めと判断するという基準で対応していきたいと考えて います。	土木建築部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
10	東本梅町	安全・安心のまちづくり 【質問事項等】 赤熊・青野線の通行止めについて、 誰が通行止めの判断をするのか。	市の職員が現地で対応できない事も考えられますので、地元の消防団や役員の方 の協力もお願いしたいと思ひます。また地元で通行止めされた場合は市へ連絡をお 願ひします。	土木建築部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
11	東本梅町	安全・安心のまちづくり 埴生断層がどの位置を通っているか明らかにしてほしい。	埴生断層の位置については平成20年に公表され、その後国土地理院が調査を行い平成26年11月1日に新たな活断層図が公開されました。埴生断層は、篠山市西野々から亀岡市宮前町宮川までの延長12.0kmであり、東側部分は、北東側下がり の縦ずれを主体とする断層であることが明らかとなっています。自然災害は、急激な 気象変化なども一因となって、広域化・激甚化する傾向にあり、市民、関係機関、行政等が「自助・共助・公助」の役割を認識するとともに、一体となって連携し、防災・減災対策に取り組んでまいります。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
12	東本梅町	安全・安心のまちづくり 【質問事項等】 国土地理院の図面と産業研究所の図面とで埴生断層の位置が違う。今後国等の調査が実施される際に、埴生断層も調査していただけるようにお願いしたい。また、活断層上に避難所が多くある。その点についても検討していただきたい。	埴生断層については様々な情報があるということですので今後研究していきたいと思 います。避難所については、赤熊公民館が古く、耐震的にも問題がありそうなので、 公民館等についての補助制度を含め、防災・減災の面からも検討していきたいと思 います。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
13	東本梅町	道路の安全対策について 東本梅町赤熊南垣内の市道において、道路横断側溝が老朽化し、車が通る度にコンクリートの蓋の音がひどく付近の住民から苦情が出ています。つきましては、横断側溝の改修をお願いします。	道路修繕工事の要望については、市内各所から数多くの要望をいただいております、 車両や歩行者の通行に危険があるところや、自治会からの優先順位が高い所より順 次実施しています。赤熊地内の横断水路については、蓋のがたつきによる騒音で隣 接の住民にご迷惑をおかけしていることは確認しており、特にがたつきがひどい2箇 所について、平成28年度に修繕を実施しました。今後も、優先順位を踏まえながら 対応について検討していきます。	土木建築部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
14	東本梅町	河川の安全整備について 音羽川の状態は、平成25年の台風による大雨等により、音羽川兩岸の護岸が大きく浸食されている箇所があり、今後の大雨如何によっては、地域住民が大きな被害を受ける恐れがあります。また護岸には里道があるが通行にも危険があり支障をきたしています。つきましては、護岸の改修工事をお願いします。	河川の改修工事については、市内で多くの要望をいただいております、住家近接地 で、豪雨時に住宅等に直接被害が発生する可能性がある箇所を優先的に、順次実 施しています。音羽川については、平成22年度から事業に取り組み、平成24年度ま で護岸整備を実施し、平成25年度には災害復旧工事を行いました。宅地に隣接し た右岸の危険箇所の整備は概ね完了しています。左岸の里道部について、護岸は 若干洗堀を受けている箇所は確認されましたが、現時点では緊急に復旧を行うもの の判断には至りませんでした。今後においては、引き続きパトロールを実施し、経過 観察を行ってまいります。	土木建築部長	⑤困難	こん談会時の回答のとおりです。
15	東本梅町	大内区青谷川の全面改修について 青谷川の全面改修についてはここ数年に渡り再々お願いしてまいりましたが、毎回決まって経過観察中との回答しか得ていませんが、該当地区は土砂災害警戒区域内に人家が集住している地域であるが故に住民の不安感には並々ならぬものが有り、長年に渡り重荷になっていますので是非とも早急な護岸工事砂防ダム設置等の防災対策の実施を望むところであります。	河川の改修工事については、市内で多くの要望をいただいております、住家近接地 で、豪雨時に住宅等に直接被害が発生する可能性がある箇所を優先的に、順次実 施しています。青谷川については、平成25年度に護岸工事を実施しており、現時点 では緊急的に工事を実施しなければならない箇所は見受けられませんでした。今後 についても、引き続き経過観察させていただきます。砂防ダムについては、22年前の 資料は残っていないものと推測されます。砂防ダムの設置については、砂防指定地 であることが条件とされており、当該地については砂防指定が受けられていないた め、砂防ダムの設置はできないと考えます。	土木建築部長	⑤困難	こん談会時の回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
16	東本梅町	市道大内線道路改修について 1. バス停付近 三角帯未舗装部分 ※バス乗降時の水・泥・はね防止のため必要	大内区のバス停付近の三角帯未舗装部分については、市道区域ではないため、市での舗装対応は困難です。これについては、市道の認定外道路改良の補助制度等の活用を検討をお願いします。	土木建築部長	⑤困難	こん談会時の回答のとおりです。
17	東本梅町	市道大内線道路改修について 2. イタヤ橋と市道接触部分の段差修復 ※バイク・自転車・歩行者等の転倒恐れあり	イタヤ橋前後の舗装については、段差が生じていることが確認できましたので、舗装修繕させていただきました。	土木建築部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。
18	東本梅町	青野小通学路について 松熊区内の民家の終わりから宮前区内までの通学路の山側から木の枝が覆いかぶさっている。年に一度、保護者・区民が清掃するが幹・枝が太くなり大掛かりな伐採が必要だと考える。安全に通学できる様整備してほしい。	道路沿いの樹木の日常管理については原則、その土地の所有者にて対応をお願いしていますが、地元や個人では対応が困難な場合、緊急性、危険性によっては道路管理者として必要な対応を検討しながら適正な道路の維持管理にあたりたいと考えています。道路にはみ出した部分の枝払い等については対応できますが、個人の土地の中にある根元までとなると困難です。	土木建築部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
19	東本梅町	青野小通学路について 【質問事項等】 過去に伐採していただいたと記憶しているが、当時ほどまでの範囲で対応していただいたのか。	当時どこまで伐採したかはわかりませんが、少しでもあれば個人の土地の部分に入っている部分も一緒に伐採した可能性はあります。	土木建築部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
20	東本梅町	水路の改修について 集中豪雨のたびに水路が溢れ近隣の民家が床下浸水になります。浸水被害が減少する対策をお願いします。	水路等の改修要望については、市内各所より数多くの要望をいただいていることから、修繕については緊急度の高いものより順次実施しています。中野区の水路については、浸水被害を低減させる方法について、地元の方とも相談しながら他の要望事項との優先順位をふまえて検討していきたいと考えています。当該水路については、NTT管が通っている関係から断面の拡張は難しいと考えていますので、他の方法での対応を検討していきたいと考えています。	土木建築部長	①実施	水路改良は困難ですが、今年度、地元役員とも協議した中で、隣接の家屋への浸水対策を実施しました。
21	東本梅町	ハーフマラソン時に迂回路となる東大谷宮川線の交通整理について	ハーフマラソン時に市道東大谷宮川線が迂回路となっていました。これまでは狭小区間に競技委員を配置していませんでした。次回開催時には警察とも協議し、役員を狭小区間に配置し、交通整理を行い、スムーズな離合が出来るようにしていきたいと考えています。また水橋から大内区に向かうカーブの箇所に車が停車されており離合がスムーズにできなかったといった事もありましたので、そちらにも競技役員を配置することを考えています。	生涯学習部長	①実施	第3回亀岡ハーフマラソン大会はご指摘いただきいただいた前年度の反省を活かして交通警備員を増員して臨みました。しかし、その警備員の連携がうまく取れず、大型車の迂回に手間取り交通渋滞を招いてしまいました。第4回大会に向けては、委託先の警備会社への徹底した指導により、交通渋滞を回避したいと考えております。